

長野県議会 改革・新風
 長野県議会 改革・新風 県政対話集会
 2013年1月24日(木) 16時30分～
 高森町福祉センター 2F大ホール
 皆様 お気軽にお出掛けください

第7号 (2013年) 平成25年1月
 発行・編集/改革・新風
 長野県庁県議会棟内(026)232-0087
 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
 http://www.kaikaku-shinpuu.com

長野県議会 改革・新風 代表 倉田 竜彦

今年も会派一同がんばります!

 吉川 彰一 (財務委員長)
 齋 裕一 (広報企画委員長)
 下沢 順一郎 (政務調査会長)
 小島 康晴 (政策審議会長)
 野澤 徹司 (幹事長代理)
 竹内 久幸 (幹事長)
 倉田 竜彦 (代表)
 石和 大 (政策審議副会長)
 依田 明善 (政策審議副会長)
 中川 博司 (政策審議副会長)
 続木 幹夫 (広報企画副委員長)
 堀場 秀孝 (政務調査副会長)
 荒井 武志 (政務調査副会長)
 山岸 喜昭 (政務調査副会長)

代表年頭ごあいさつ
 長野県議会 改革・新風 代表 倉田 竜彦

「改革・新風」県議団を代表して、年頭のご挨拶を申し上げます。

我が国の経済情勢は、欧州や中国など世界景気の減速等を背景として景気は急減速し、後退局面に入っていることが鮮明となっております。県内経済におきましても受注の

減少や中国向け需要の伸び悩み等により生産は弱めの動きとなっております。また雇用情勢については持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、厳しい状況が続いています。

私たち「改革・新風」は、当面の県政課題に関して積極的に調査活動を行い、昨年にも会派独自の事業評価を行うなど他派に先駆けて改革に取り組んで参りました。

新たな中期総合5か年計画初年度となる平成二

十五年度は、我々県議会議員にとりましても任期の折り返しであります。依然として厳しい財政運営が求められている本県において、新たな総合5か年計画の着実な実施と震災からの復興、県民の安全・安心な暮らしに直結する施策を重視し、より身近で分かりやすい県政運営のために徹底した情報公開を推進し、県民が参画する県政の確立を目指します。

本年も県民の皆様方の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

阿部知事に提言

10月22日、県政全般に関する基本的施策27項目と各局別191項目の合計218項目に及ぶ「平成25年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を阿部知事に提出しました。主な要望及び知事のコメントは次の通りです。

◎厳しい財政状況の下での予算編成は、県民生活を重視した施策を柱に「経済対策予算」とすること「政局優先の国への対応には議員各位からも協力願いたい。予算の執行状況のわかりやすさには工夫している」

◎「新交通ビジョン」の策定について、県民の暮らしに直結した視点

◎森林づくり県民税の継続については、間伐材の活用と流通に力点を置き、県民や観光客にわかりやすく推進すること

◎「使途がわかる形で運用したい」

◎中学校の30人規模学級について、市町村や教育現場と連携して三年への導入を行うこと

◎「中」・中二へと順次対応しており、三学年初年度「中長期的視点で対応し、できる限り県民に理解を得られる形でスタートするために丁寧に対応する」

◎県短期大学の4年制化は県内産業育成に必要な人材育成を担う高等教育機関となるよう配慮すること

◎「中長期的視点で対応し、できる限り県民に理解を得られる形でスタートするために丁寧に対応する」

本提案書は冊子にまとめ、ご要望に応じてお届け致します。ご希望の方は会派事務局までご連絡下さい。

11月定例会 41億8400万円余 補正予算などを可決

■経済・雇用情勢への対応

- ◆県内産業の活性化 県内企業の販路開拓支援 1531万円
- ◆県民生活の安全・安心確保 補助公共事業費13億6650万9千円
- ◆障害者グループホームの整備 4550万円
- ◆高等学校の環境改善 6284万9千円
- ◆観光誘客の促進 アルクマキャバンの実施 17万3千円

◆雇用の創出 緊急雇用創出基金の活用

◆持続可能な資源循環型社会の形成 マイバッグ持参の促進 852万8千円

◆その他 児童養護施設等の環境改善 556万5千円

指定管理者による施設管理

◆県民生活の安全・安心確保 補助公共事業費10億9152万9千円 (11月補正予算案合計)

寺島副代表が辞職

「改革・新風」寺島義幸副代表が、この度衆議院議員総選挙に長野3区から出馬するため、県議会議員を辞職しました。11月27日の本会議で挨拶し、「21年余の議員生活で、高速交通網の進展、長

野冬季五輪の成功が思い出深く、中期総合計画策定や議会改革に参画できたことは、財産。今後住民一人一人の目線に心豊かな地域づくりのために渾身の努力をしたいと思います」と語りました。

総選挙の結果、小選挙区で当選を果たしました。

この対話集会は年2回開催しており、今回は年明けの1月24日に下伊那郡高森町で開催の予定です(詳細は最上段右端)。

からも「助かりました」と好評でした。

今回の集会には、手話通訳や要約筆記の方をお願いしたところ、聴覚障害者をはじめ高齢者の方々から「助かりました」と好評でした。

この対話集会は年2回開催しており、今回は年明けの1月24日に下伊那郡高森町で開催の予定です(詳細は最上段右端)。

県政対話集会

去る10月30日、千曲市戸倉創造館において「県政対話集会」を開催しました。千曲市・坂城町地域を中心におよそ260人が参加しました。

はじめに、千曲市・埴科郡区選出・荒井県議があいさつ。次いで倉田代表、千曲市龍澤副市長、坂城町山村町長があいさつしました。

その後、「改革・新風」の県議14名が自己紹介を行った後、参加者から発言をいただく対話形式が進められました。

発言は8人からあり、聴覚障害者からは「バリアフリー化の推進や「福祉」のまちづくり条例」に

40万2千円

◆雇用の創出・確保 緊急雇用創出基金による取組14億7000万円

11月補正予算案合計41億8436万9千円

うち経済対策関連事業4億3173万円

障害者の立場を十分入れて欲しい」などの要望がありました。県議からは、「県条例(の検討)では専門委員が集まっているので、しっかり伝えていく」と答えました。このほか、防災用備蓄、新幹線新駅問題、いじめ対策、広域焼却場問題、農業の担い手対策など、幅広く質問や要望が出されました。

今回の集会には、手話通訳や要約筆記の方をお願いしたところ、聴覚障害者をはじめ高齢者の方々から「助かりました」と好評でした。

この対話集会は年2回開催しており、今回は年明けの1月24日に下伊那郡高森町で開催の予定です(詳細は最上段右端)。

佐々木副議長の下、通算21回目の一般質問



謹賀新年

昨年末に国政では政権が交代しましたが、今年こそよい年になりますよう「県民の生活が第一」を基本に、政務調査活動に誠心誠意取り組んでまいります。ご意見・ご要望等お気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

(公職選挙法により市内への年賀状は欠礼いたします)

小島康晴の 県政レポート

VOL 23

飯田市高羽町3-1-7

TEL・FAX(0265)23-5388



11月県議会

大規模災害に確かな備えを

夢もあり、実現性もある総合計画の策定を

一般質問

県政報告第23号をお届けします。今議会では、岩手県や宮城県
の被災地の視察を踏まえ、しっかりと大規模災害への備えを行う
ことや、新たな総合計画や交通ビジョンについて、理事者の姿勢
を質しました。

大規模災害への備え

■備蓄について

【小島】意識啓発等の取
り組みは？

【危機管理部長】3日間
は住民自らの備蓄で賄う
よう啓発を行っている。

■通信網の整備

【小島】電源確保も含め、
発災直後の通信網の確保
は？

【危機管理部長】非常用
発電機、地上系と衛星系
の2方式の防災行政無線、
衛星携帯電話と、3つの
レベルで確保している。

■防災訓練のあり方

【小島】大震災以降、本
部の体制や防災訓練など
の工夫は？

【危機管理部長】災害対
策本部を防災関係機関が
一堂に会すよう配置変更
した。マンパワーの強化
も行った。訓練も、より

■人材等の育 成について

【小島】系統 的な人材育成 など、部職員 の専門性の維 持向上を。

【危機管理部長】現職警察
官の出向、現
職自衛官の受け入れ、
専門機関への研修派遣な
どにより、専門性の確保
と向上に努めたい。

■市町村との連携

【小島】災害対応に追わ
れる市町村現場からの情
報収集への県の支援は？

【危機管理部長】市町村
で災害対策本部が設置さ
れた場合には、職員を派
遣して、情報収集ができ
るようにしている。

■道路網整備について

【小島】東日本大震災で



壊滅した市街地

は、「三陸
道路」が避
難や緊急物
資輸送に大
変役立った
とのこと。
こうした観
点から、今
後どのような
道路整備
を進める
か？

【建設部長】県では緊急 輸送路を指定している。 5か年計画において、引 き続き重点的に推進する リーダーシップのあ り方

【小島】大規模災害対応
に限らず、常に職員や組
織の力が十分発揮される
よう、日頃から部下職員
に「任せるべきは任せる
姿勢」が肝要である。
【阿部知事】それぞれの
職員が主體的に能力を発
揮してもらえよう環境
づくりをしたい。

新たな総合5か年 計画について

■中期財政見直し

【小島】5か年計画と財
政の中期見直しは、セ
ットで示されるのか？

【総務部長】来年度の当
初予算案の公表の際に財
政試算をお示しする。

■新たな交通ビジョン

【小島】リニア開通後、
本県が7千万都市圏の真

文教企業委員会県外調査

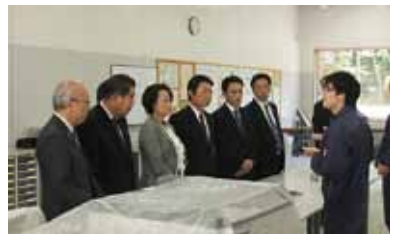
神奈川県・東京都を視察

今年度は、進学重点
の学力向上、連携型中
高一貫校、キャリア教
育に取り組む神奈川県
立光陵高校、県立歴史
博物館、神奈川県企業
庁(電気事業)、エン
カレッジスクールに取
り組む東京都立蒲田高
校、杉並区立和田中学
校、進学指導重点校で
スーパーサイエンスハ
イスクールに取り組む
都立日比谷高校、都立
永福学園を調査、視察
しました。



和田中学にて

和田中学校では、民
間から招かれた代田校
間から招かれた代田校
間から招かれた代田校
間から招かれた代田校
間から招かれた代田校



永福学園にて

長先生が飯田市出身との
ご縁もあり、学力向上の
取組や「よのなか科」、
部活イノベーションなど、
様々な学校改革の取組に
ついて伺いました。視察
の成果を是非具体化して
要がある。

大規模災害へ の議会の対応

議会改革調査会では、
昨年の北部地震への対応
の反省から、大規模災害
等への議会としての対応
について、検討を重ねて
きました。そして、岩手
県議会の取組などを参考
に、県に「災害対策本
部」が設置された場合に
は、連動して県議会にも
「災害対策連絡本部」を
設置することとし、平野
議長に申し入れました。
災害発生当初の混乱し
ているときに、個々の県
議員が個別に対応する
ことを避け、議会として
情報を共有し、被災され
た県民の要望
等をとりとま
めることなど
を目的として
います。



止まってしまった役場の時計

【企画部長】県と市町村
が、適切な役割分担の下
に、連携して取り組む必
要がある。

【小島】「信州独自の自
治」は、市町村と十分な
連携、協議の上、進める
べき。

【阿部知事】県が勝手に
仕組むを作るということ
は許されず、市町村とし
ては許されず、市町村と
進めたい。

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・新風

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP://www.kaikaku-shinpuu.com
E-mail:info@kaikaku-shinpuu.com

駅無人化への 対応協議

上下伊那の県議で企画
部長を招き、飯田線の駅
無人化方針への対応など
協議しました。市町村と
力を合わせ、県が窓口に
なって責任を持って対応
するよう要請しました。

団体営事業補助充実を!

議員有志でつくる「土
地改良研究会」では、農
業農村整備事業の予算確
保、農業用水を活用した
小水力発電の推進など阿
部知事に申し入れました。
知事からは、農業農村
を守るのは県政の基本で
あり、予算編成の中で検
討したいとの見解が示さ
れました。